

ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。



発達障害の基礎知識 ～主に幼児の方向け版～

横浜市西部地域療育センター
医師



主な発達障害

ASD（自閉スペクトラム症）

LD（学習障害）

AD/HD（注意欠如多動症）

自閉スペクトラム症(ASD)とは？

「脳の機能」に原因がある発達障害

- 脳の病気ではありません
- ミクロなレベルでの脳の違いといわれています



ASDの発達特徴

- コミュニケーションの困難さ（やりとりの苦手さ）
- 限局しパターン的な興味と行動（こだわり行動）
- これらが幼児期には出現し、本人や周りが困っている

特性の判断

+

生活上の困難さ



ASDの診断へ

コミュニケーションの質的な困難さ

- 言葉のコミュニケーション
- 言葉以外のコミュニケーション
ジェスチャー、表情などのちょっとした仕草、
ことばに込められた意図や感情 など



言葉が遅れているだけとはいえない

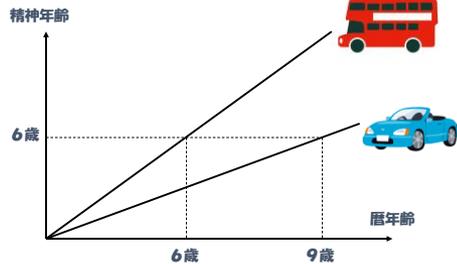
限局しパターン的な興味と行動（こだわり行動）

- 興味・関心の幅が狭い（概して深いことが多い）
- 特定の物・手順・遊び方・ルール などのこだわり
- いつまでも同じことを繰り返す
- パターンが変更されると不安、パニック、自傷

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

知的障害（知的発達症）



発達の**スピード**が発達の尺度からみて一定水準を逸脱し、社会的不適応がみられる

LD(学習障害)の主症状

話す・聞く

読み・書き

算数



その他、不器用、ことばの問題、など…

発達全体に遅れがある場合は、知的障害と診断

誤解されやすい症状…



環境改善的アプローチ



読み書きの習得よりも、**授業内容の理解や活動への参加に力点**
本人、学校、周囲の理解が導入には必要となる

LD診断の意義

- 子どもにあった学習環境を設定できる。
- 子どもの周囲，特に保護者と教師が子どものよき理解者となることができる。
- 不安やイライラなど、二次障害を最小限に抑える。

診断および、詳しい評価は小学生になってから

AD/HD（注意欠如多動症）

- Attention Deficit/Hyperactivity Disorder
- 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

活発？好奇心？

小学校2年生 男の子

幼児期はとにかくたえず動き回る子であった。小学校に入り、なんとか着席しているものの、足をモジモジさせ落ち着きがない。授業中も注意が散漫になってしまう。本人も、なぜ他の子のように自分がうまくできないのか悩んでいる。



AD/HD（注意欠如多動症）

- 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

12歳以前に症状の存在
6ヶ月間以上の症状持続
学校と家庭など、2箇所以上で症状が存在

確定診断は、小学生になってからが多い

多動…それは曖昧な概念

AD/HDの多動



不安



あせ
焦い



イライラ



診断の意味

- 発達障害の特性をふまえた育て方のコツを知るキーワード
- 今すべきこと、今ががんばらなくていいことの整理がしやすくなる
- 発達支援に必要なサービスにつながりやすくなる



強みを活かして、
社会参加を目指す

苦手なところをできる
ようにする・何らかの
手段で代替させる



子育ての基本的な考え方

（特に幼児期）苦手なことは “といてあげず後回し”くらいが丁度よい

- 狙ってできるようになるものではない。
- そのうちのできることも。
- “やらせる”ことで、生活・情緒面の不安定につながることも。



どんなことは今はやらなくていいのか、
個々に相談することができます。



月 火 水 木 金 土 日・・・



その●●は役に立つのか？

普遍的な万能薬というものはない

P.ハウリン (2003)



<https://www.kcl.ac.uk/people/patricia-howlin>より引用

その●●は役に立つのか？

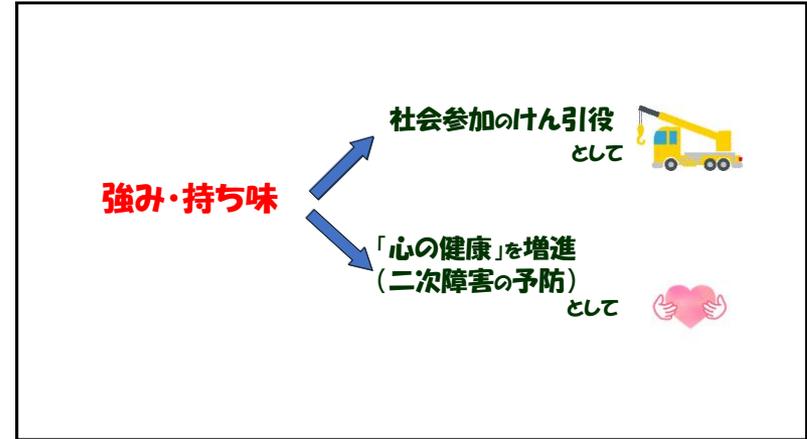
苦手さと持ち味は
周りの見方次第ともいえる

- | | | |
|------------|---|-----------------------|
| 融通がきかない | ⇔ | 妥協をしない |
| 周りにあわせられない | ⇔ | 一本気で筋を通す |
| うそがわからない | ⇔ | オモテウラがない、
信用できる正直者 |
| 強いこだわり | ⇔ | 深い知識、豊かな趣味 |
| 変わったヤツ | ⇔ | 面白い魅力人、
○○博士 |

遊ぶところ

作業するところ

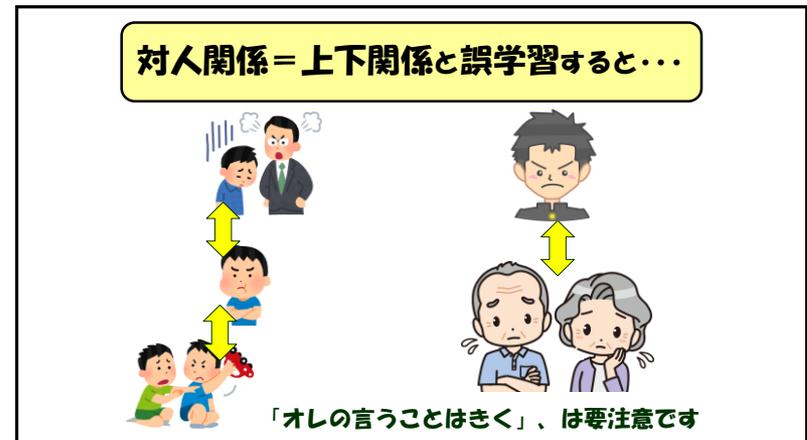
本人が「わかるもの」を見つける
空間の構造化



叱り方のコツ

- シンプル is ベスト
- 視覚的にかかわるくせをつける
(言葉かけを多用しない)
- 「ダメ」だけではなく、肯定形で伝える
- 周囲が一環した対応を心がける

「叱る」のもコミュニケーションの一つですね!



集団活動で社会性の土台を身に付けていく

- 幼児期の基本は、**安心感**の提供。
無理に周囲に合わせることを強要することで、
「**友だちといるのっていやだな**」にならないように！
- うまくいったという体験を通して社会的行動を学ぶ